

「よくわかる！花嫁のための結婚式花の入門書」

ある日のこと私のスタジオに、一通のメールを頂きました。

「これから結婚式を予定しているのですが、自分たちらしい結婚式にしたいし、大切なゲストに楽しんでもらいたい。

親や親族に感謝をしっかりと伝えられて、来てくれた人たちに幸せな気分になってほしい。

だけど予算のこともあるし、どんなことができるのか知りたい。

私たちが心から結婚してよかったと思えるために、何から始めたらよいのかわからなくて・・・ぜひ相談したいのです！」

夢がいっぱいそして悩み多き花嫁さんからのメールでした。

私たちが頼っていただいて本当にうれしく思いました。

この花嫁が最高に幸せと感じられる結婚式の実現へ向けて、みなさんと一緒に考えていきましょう。

目次

はじめに-----	3
今ウェディングが面白い！みんなはどうしているの？-----	3
オリジナルウェディングが簡単に出来ちゃう方法ってあるの？-----	4
第1章 これで解決！ウェディングデザインの力をかりる-----	8
解決法その1・ゲストが楽しめる素敵なシーンを作ろう・空間と花の関係-----	8
解決法その2・ウェディングに”物語”を取り入れよう・花と物語の関係-----	10
解決法その3・グラフィックで物語を作ろう・物語とグラフィックの関係-----	11
ふたりの物語の実例-----	14
簡単に成功させる発想 ～コンセプトはみんなをつなげる～-----	16
第2章 簡単！結婚式の花の決め方-----	18
結婚式の花を決めよう-----	18
結婚式の花のアイテムのすべて-----	21
重要ポイント！お花屋さんの選び方-----	23
第3章 やってみよう！花の準備・実践編-----	29
～ふたりの思いを言葉にする～-----	29
～ふたりの感性を画像（絵）にする～-----	31
～DIY大作戦！ハンドメイドウェディング～-----	32
～具体的にテーマを決めてみよう～-----	33
幸せな花嫁たちの打ち合わせ実例-----	34
あとがき-----	44

はじめに

今、ウェディングが面白い！ みんなはどうしているの？

今、”オリジナルウェディング”が注目されています。

ウェディング、結婚用語辞典によると、
「結婚するふたりの個性を演出するウェディングスタイル。会場やテーブルのコーディネート、演出、手作りのペーパーアイテムなどさまざまところにふたりの趣向をこらすことができる」とあります。

いま、みなさんのライフスタイルの中で、それぞれの人が持つ”個性”の大切さを、肌で感じているのではないのでしょうか？

生き方や仕事の中でも”私らしさ”ということに魅力を感じると思います。

ふたりにとって最大のビッグイベントである”結婚式”に、
ふたりらしさを表現したいという気持ちは自然に湧いてきますよね。

これまでの結婚式の枠を超えて自由に結婚式をしたい！

そんな中、私たちを取り囲む社会では今どんなことが起こっているのでしょうか？

ここ数年、ふたりの結婚へのスタンスやライフスタイル、考え方に合わせて、
式場以外のユニークな場所での結婚式を挙げる方が増えています。

以前は普段結婚式に対応していない特別な場所での結婚式は、設営、準備の手間や経験不足、それにかかる費用なども相当かかるようでした。

しかし、近年うれしいことに専門会社も現れ、ノウハウが積まれその問題も徐々に解消されているようです。

とはいえ、現状日本の結婚式需要の大多数は式場での結婚式。
やはり一番人気ですね。

安心感、ブランドの信頼感、サービスのクオリティー、付帯設備の充実、立地の良さなど魅力がたくさんです。

そうすると、式場での結婚式を挙げるみなさんは当然のことながら、ある程度規制の枠のある式場での結婚式を上げることになります。

そんな状況のなか、どうしたらオリジナルウェディングができるのか？
ふたりらしさを上手く表現する方法は何かを知りたいですね。

この難しい問題をどう解決していけばよいのでしょうか？

みなさんと一緒に少しずつ解決していきましょう！

オリジナルウェディングが簡単に出来ちゃう方法ってあるの？

「ふたりらしい結婚式がしたいけど、どうすればいいかわからない」
はじめての経験ですから、どこから始めたら良いのか全く分かりませんよね。

オリジナルウェディングを成功させる秘訣はズバリ
優秀なウェディングプランナーを見つけることです。

ウェディングプランナーはふたりの一番の理解者です。
結婚式に関するすべてのことに相談に乗り、アドバイスをし、時には励まし合
って問題を乗り越えていく頼もしい存在です。

2人の希望をしっかりとヒヤリングして、漠然とした思いまでも引出して形にし
ます。

ふたりの思いを現実に作り出すために、様々なアイテムをコーディネートして
いくのが仕事です。

ふたりを担当するプランナー次第で、オリジナルウェディングが成功するかど
うかが決まるといってもよいでしょう。

でも実際は、会場を決めると自動的にその会場のプランナーが決められてしま

いますよね。

会場のプランナーも人それぞれで、得意不得意があるのが当然です。

プランニングが上手な人、お客様の希望を引き出すのが上手な人、
センスが良くてデザインに強い人、経験豊富な人、そうでない人・・・

また、良いプランナーの選択基準もない中、なかなかこちらから選ぶことや良し悪しを判断するのは難しいでしょう。

いったいどうしたらよいのでしょうか。

運を天に任せて優秀なプランナーに出会うことを祈るのみでいいのでしょうか？

大丈夫、ここに解決方法があります。

**オリジナルウェディングを成功させる簡単な方法は、
プランナーを自分たちの理想のプランナーに変えることです。**

さて、そんなことが出来るのでしょうか？

プランナーの職種が受け持つ仕事は膨大な範囲におよび、それを遂行する高い能力が必要です。ただその範囲すべてを高い能力でカバーできる人はそうはいません。

プランナーの職種のたくさんの機能の中で、オリジナルウェディングを作るうえで最も大切な機能が「コンセプトメイク機能」と「デザイン機能」です。

2人の理想の結婚式を成功するために、コンセプトを決め当日の進行を作る「コンセプトメイク機能」。

そして、そのコンセプトを表現するためのアイテム（ドレス、招待状などのペーパーアイテム、ブーケや花装飾、空間コーディネート、ビデオ、写真、演出商品など）をコーディネートする「デザイン機能」。

この二つの機能はオリジナルウェディングを成功させるための胆になる大切な部分です。

しかもプランナーのなかで一番難しくハードルが高い部分でもあります。

この二つの機能の能力が高いプランナーが、オリジナルウェディングを作るうえで、優秀なプランナーということになります。

そこで、この二つの機能に着目します。

プランナーの「デザイン機能」のなかでも、オリジナルウェディングを作るうえで最も大切なものが「3大ウェディングデザイン」といわれるものです。

3大ウェディングデザインとは「グラフィックデザイン・花デザイン・空間デザイン」の三つをいいます。

これが、プランナー機能の「コンセプトメイク機能」と「デザイン機能」の二つをしっかりとカバーし、サポートします。

●グラフィックデザインとは、招待状や席次表、メニュー表、会場に飾るウェルカムフラッグなどのことです。

招待状を決める時に2人のやりたいことやパーティーのコンセプトなどをしっかりと表現することがとても大切です。

パーティーのすべてのイメージを作ることが出来る、大切なデザインです。

●花デザインとは、ドレス姿のご新婦を最高に生かすブーケや会場装花で2人のコンセプトや雰囲気を表現するために極めて重要なデザインです。

●空間デザインとは、何も飾られていない無機質な会場を、2人のコンセプトを表現したウェディング空間に変えます。

どれも、ゲストに楽しんで頂いたりふたりからの想いを感じて頂いたり、おもてなしをするために必要なデザインです。

現在プランナーの仕事の中で最大の弱点はこれらが、ばらばらにふたりに提案されていることです。

招待状選びと花選びと空間の雰囲気作りが、別々の担当者が打合せすることが

多いため、一つのコンセプトで統一する意識が低くなりバラバラの印象が出来てしまいます。

これでは2人のコンセプトが十分に表現されませんよね。

オリジナルウェディングを成功させるためには、できるだけこの三つのデザインを一つのコンセプトに統一してコーディネートをすることです。

そのためには三つのデザインをまとめる事が必要になってきます。

オリジナルウェディングを成功させる一番の方法は、プランナーを自分たちの理想のプランナーに変えることでした。

その最も簡単な方法が、この三つのウェディングデザインを統一してコーディネートすることなのです。

それでは具体的に見ていきましょう。

第1章

これで解決！ウェディングデザインの力をかりる

オリジナルウェディングを成功させる上でキーワードとなるのが「空間」・「花」・「グラフィック」です。

ここに解決の糸口があります。

では、「ゲストに直接五感で感じてもらう”おもてなし”を表現するのに、特に重要な「空間」・「花」・「グラフィック」を取り上げてお話をしていきます。

●解決法その1

ゲストが楽しめる素敵なシーンを作ろう ～空間と花の関係～

まず「空間」と「花」の関係についてのお話です。

ここでいう「空間」とは、会場の内外のゲストを包み込み、体感させる空間のことです。

「花」とはその空間を花や植物を使って飾り付けるということです。

もちろんウェディング空間を彩るものとして花嫁のドレス姿も大切な要素ですから、ドレスを引き立てるブーケも含まれます。

まず、空間を花や植物で飾り付ける場所のことを考えてみます。

ゲストと自分たちを含んだ、どんなシーンを作りたいか？を最初に考えます。

その際ゲストの目線で考えることが上手く作るコツです。

結婚式当日ゲストは電車や車を降りて、招待状に添えられた地図を見ながら結婚式の会場を目指します。

その会場は駅からすぐ目の前だったり、オシャレな街並みを眺めながら歩いたり、緑の多い小径や公園の中を歩いていくのかもしれませんが。

やがて会場のエントランスにたどり着き、ウェルカムボードでふたりの名前を確認します。

入り口には案内人が出迎えてくれるかもしれませんが、自分でドアを開けて入るかもしれません。

中に入ると長いアプローチを進んだり、階段を登ったり小さなガーデンを横切ったりするかもしれません。

やがて人が集まる受付を見つけ、受付の方に挨拶をして記帳をするでしょう。

その時、久しぶりに会う友達を見つけ出すかもしれません。

たとえば、そこにアンティークなソファを中心に花や植物で彩られ、趣味の良い小物や手作りのフラッグガーランド、ふたりのイニシャルを象った大きなフラッグなどを飾り付けた、オシャレなフォトブースが出迎えてくれるでしょう。

当然花嫁や友達と写真を撮をたくさん撮り合います。
ふたりから素敵な思い出と写真のプレゼントが出来ます。

ゲストの当日の目線で考えると、エントランスに到着するまでにもこんなにたくさんのシーンが予想でき、それぞれのシーンを印象深くする装飾が考えられますね。

なんと、まだゲストは入り口に着いたばかりです、これから様々なシーンが予想できます。

ここで大切なことは様々なシーンを予想するばかりでなく、自分たちでゲストを楽しませるシーンを作り出せるということに気付くことです

●解決法その2

ウェディングに”物語”を取り入れよう ～花と物語の関係～

"花と物語"についてのお話です。

みなさんに、とっておきの秘密を教えましょう。

不思議なことに「空間」を「花や植物」で飾り付けると、そこに風景が浮かび上がってきます。

これは花や植物以外では表現出来ないことです。

こうして風景が浮かび上がると、そこに「物語」が生まれます。

不思議ですね、人は風景を見るとそこに物語という感情を見いだすようです。

そしてここからが大切なこと、その物語にふたりの表現したいことや夢を、そしてお招きするゲストへ向けたメッセージを込めるということです。

オリジナルウェディングに、なぜこんなにも花や植物というボタニカルな要素がたくさん取り入れられるのでしょうか？

どうたらここに答えが隠れているようですね。

もうひとつ大切なことがあります、みなさん緑の多い大きな公園や山脈が連なる高原や草原、爽やかな風が頬を撫でる山や海に身を置いた時、何を感じますか？

一面が花で埋め尽くされた花畑の真ん中で寝転んで見た、草や花越しに見上げた大きくどこまでも澄み切った青い空を見た時、どんなことを思いますか？

きっと全身で強い生命力を感じたり、すべての自分の細胞が喜び癒される体験をすすると思います。

これが自然の力、植物や花の作り出す素晴らしい力です。

人間も自然の一部だということを体感出来る瞬間ですね。

誰しものがそういう効果があることを考えると、ウェディングにボタニカルなパワーを取り入れることが人気なのも頷けます。

ゲストは植物や花に触れると爽やかな気分になったり、心が癒されたり、元気になったりと心にポジティブな反応が現れます。

そしてこの結婚パーティーを体中で楽しみ、ふたりを思いっきり祝福したいと思うことでしょう。

”そこには植物から放出されるフィトンチッドという”物質や、木や花の”香り”、植物や花の出す生命の”気”が影響しているらしいですよ。

科学的に研究が進んでいるようです、奥が深いですね。

さあ、みなさんの夢は何でしょう、その植物と空間が作る物語にどんな想いを込めてゲストに何を伝えたいですか？

「空間」と「花」との関係には「物語」という素敵な秘密が隠されていました。

●解決法その3

グラフィックで物語を作ろう ～物語とグラフィックの関係～

「グラフィック」と「物語」のお話しです。

オリジナルウェディングの成功に向けて問題解決のスーパーキーワードは「空間」「花」「グラフィック」でしたね。

そのなかの「グラフィック」についてお話しします。

結婚式でグラフィックはたくさん使われていますが、

代表的なものがペーパーアイテムです。

オリジナルウェディングを成功に導く強い味方がこのグラフィック。

グラフィックの魅力はコンセプト作りの時から大きな力を発揮します。

ふたりのオリジナルのロゴマークを作るのも特別感があるし、決まったモチーフがあれば、それをグラフィックで表現するのも効果的です。

さらに「グラフィック」にはとっておきの優れた力があります。

それは、グラフィックは「物語」を作ることです。

ふたりのロゴマークやモチーフを招待状に表現してゲストに届けます。

印象的で個性的なものであればゲストの心にしっかりと残り、受け取った瞬間から結婚式当日までワクワクした気持ちで過ごしていただけます。

たとえば招待状に面白い仕掛けを作ってみる。

大きなパズルの一つのピースを招待状に入れて、ゲストの好きな色に塗って貰い、それを当日持ち寄ります。

結婚式の中でみんなが持ち寄ったピースで巨大なパズルを完成する。

人はみんなそれぞれ違った色を持っています。

人は生まれてから家族や友人など周りにいてくれる人々によって

自分自身が創り上げられるものではないでしょうか？

ということは、ふたりはこれまでの人生の中で、この様々な人の色に染められて、今の自分の色が作られたということになります。

そこで、結婚式という機会にふたりの元となった、たくさんの色を合わせてみる。

2人のこれまでの違った人生の色が混ざり合って、これまでとは違う2人の色が見えてくる。

それを結婚式で実際に目にして体感することができます。

またそこに参加するゲストも、そのことをきっかけにして、こんどは自分自身の色を探し始め、自分の色を作り出してくれた、たくさんの人に想いを巡らし感謝をするという素晴らしい機会にもつながっていきます。

例えば、このピースに「あなたが一番愛するものはなんですか？」という問いの答えを書いて貰って、みんなの愛が詰まった幸せなパズルを作り出す、というのも素敵ですね。

さらに、パーティーが終わった後にみんなへの感謝の手紙を出す機会も多いと思います。

この感謝のお手紙の中に、みんなが書いてくれたピースを同封します。

そのピースの裏面に、2人からみんなへ向けたメッセージを書き入れてみるのはいかがでしょうか？

自身で書き入れた「私が愛するもの愛すべきもの」が書いてあるそのメッセージカードを受け取ります。

みんなは、手元に舞い戻った自分自身の心の声を聴くこととなります。

この思いがけない体験は、もしかしたら何かが始まるきっかけの言葉になるかもしれません。

みんながそれぞれの愛するものを忘れずに、ずっと大切にできるように、今度は2人がみんなを応援する番です。

いつもみんなの心に寄り添えていられた、らどんなに素敵でしょうね。

このお手紙にも、ふたりの結婚式のロゴマークやモチーフのグラフィックは大活躍ですよ。

このように招待状を受け取った瞬間からパーティーが終わってしばらくたったある日まで、ずっと“ふたりとゲストの物語”がつづきます。

パーティーのコンセプトやテーマに合わせて招待状に仕掛けを作るのも楽しいですね。

このようにグラフィックを使って、ゲストとともに感動的な結婚式を作り上げることが出来ます。

みなさん、もうすでに”ふたりとゲストの物語”が始まっていることに気づきましたか？

●ふたりの物語の実例

こんな結婚式がありました。

ゲストに届けられた招待状の中に、博物館の恐竜展のチケットが一枚。

よく見ると結婚式の招待状になっています。

ゲストの頭の中はクエスチョン??だらけです。

このサプライズが届いたゲストは、ふたりらしさを感じてクスッと微笑み、きっと結婚式の日までの間、何度かその不思議なチケットを見返すことでしょう。

さて、いよいよ当日ゲストは博物館に向かいます。

でも博物館はもうとっくに今日の閉館時間を過ぎています。

ふと見ると、歴史のあるその古風で重厚な建物の、普段は一般客には解放されていない石造りの門から明かりが見えます。

その明かりに誘われて門にたどり着くと、入り口には大きなフラッグが出迎えています。

そこには見慣れたマークが。

そうです、そこには招待状に描かれたオリジナルのロゴマークがペイントされ、夜風に吹かれてゆらゆらとはためいています。

受付の人に恐竜展のチケットを渡すと博物館の中へ案内されます。

一般客のいない静かな館内を通り抜けると、なにやら人の気配でざわめいた一角を案内人は指差します。

そこは人の何倍もある大きな本物の恐竜の化石や標本が、オレンジ色のライトに照らし出され見るものを圧倒しています。

なんとこの結婚式に招かれたゲストだけの恐竜展が開催されているではありませんか・・・！

招待状から始まったグラフィックが仕掛けるこの物語のお話、いかがでしたか？

ゲストが当日結婚式会場に到着すると、もうすでにおなじみのロゴマークやモチーフのグラフィックが、会場に大きく飾りつけて出迎えてくれると、なぜかほっとするような暖かな気持ちになりますよね。

オリジナルのグラフィックはゲストテーブルのテーブルコーディネートにも欠かせないアイテムです。

席札や席次、メニュー表、やゲストへのメッセージカードはもちろん、ペーパーナプキンやランチョンマットにもふたりのイニシャルロゴやパーティーモチーフをプリントしてもとてもオシャレですよ。

ゲストフラワーの器にもグラフィックを印刷したペーパーを取り入れると個性的です。

またパーティー中ふたりの座るメインテーブルの周りに、グラフィックを取り入れて大きく飾りつけると、会場がとても華やかになり、ゲストとふたりが一緒に撮る写真もオリジナル感が増して素敵ですよ。

このように、グラフィックはコンセプトを表現するのが得意だし、物語を作るのにも大きな力を発揮します。

「空間」「花」「グラフィック」のスーパーキーワードは、オリジナルウェディングの成功に欠かせないものですね。

●簡単に成功させる発想～コンセプトはみんなをつなげる～

「コンセプト」の重要性についてお話します。

みなさんが学生のときの学園祭や体育祭のことを覚えていますか？

クラスみんなで力を合わせて、感動を作り出す経験をされた方も多いと思います。

ウェディングはまさにこの学園祭にそっくりなんです。

みなさん覚えていますか？

学園祭や体育祭を企画するとき何から始めましたか？

そうです、まずテーマやコンセプトを決めましたよね。

クラスみんなで意見を出し合い、これまでの学園生活を振り返り総括し、未来の自分たちがよりよく成長出来るように、今みんなが好きなことや夢中になっていること、みんなが楽しめることを考え合わせてテーマやコンセプトを決めたと思います。

もうお分りですね。ここでいうみんなとは、ふたりとゲストのことです。

学園祭ではテーマやコンセプトが決まれば、それを最大限に表現できるようにあらゆる準備をします。

まずキャッチフレーズやスローガンを決め、それをグラフィックなどのデザインにしてオリジナルのロゴマークやモチーフを表現します。

それを横断幕やポスターにして学校に飾ったり、地域の方々へ向けた告知のチラシを作ったり、招待状をだしたり・・・

また、テーマやコンセプトに合わせて学校中を飾り付けましたね。

この準備期間がとても楽しく忘れられない記憶になっています。

放課後みんなで、顔にペンキを付けながらポスターを塗ったり、必要なものを買い出しに行ったり、みんな大笑いしながら、それでいてしっかり繋がった気がした体験でした。

そうです、グラフィックデザイナーとロゴマークやモチーフをグラフィックで作ったり、ウェディングデザイナーやフラワーデザイナーと空間のデザインを考えたり、ドレスを引き立てるブーケやアクセサリーを決めたり、時には手作りでフラッグガーランドを作ったり、プランナーと面白い演出を考えたり・・・

学園祭の準備と同じことを、大人になった自分たちとふたりのデザインチームとで、みんなで笑い合いながら力を合わせて作り上げていく。

学生の頃の仲間たちから今度はふたりのためのデザインチームに変わり、その未来に向けたチャレンジは学園祭から結婚式へと変わっていきます。

学園祭が終わった後のやり遂げた達成感や仲間としっかり繋がった感じ、なんだか分からないけど涙が止まらないそんな経験を、大人になってできるのは結婚式ぐらいかもしれませんね。

コンセプトをしっかり作り、ゲストと想いを共有できると、これからお世話になる人たちとしっかり繋がる事が出来そうですね。

みんなの大切な思い出を作りましょう。

例えばあなたと仲の良い 3 人のゲストがいて、今回あなたが結婚式のコンセプトを作る事で、互いに絆が強くなることを体験させてあげられれば、その 3 人の友達は自分の結婚式にまた素敵なコンセプトを決めてくれるはず。

あなたがその 3 人の結婚式全てに参加する頃には、この 4 人をつなぐ絆は一生切れることのない強いものになるでしょう。

ぜひ、そのきっかけをあなたから始めませんか？

第2章

簡単！結婚式の花の決め方

●結婚式の花を決めよう

みなさんお待たせしました！ いよいよお花のお話です。

「お花は複雑で、考えることも多くてとても分かりにくく難しい！」と感じてしまう方も多いものですね。

そこで、日本一わかりやすいお花の決め方をお教えします。

ウェディングフラワーで決める手順は3つのみです。
とても簡単です。

1：まず作りたいシーンを考えて必要なフラワーアイテムに○をする。

(後述します)

花の全体像をラフにイメージします。

2：そのフラワーアイテムに、**コンセプト**を取り込んでデザインを具体化し金額を決定する。

3：結婚式全ての金額が出たら再度見直し、金額とアイテムを**確定**する。

(もし全体の金額が予算オーバーになったらデザイン見直し、アイテム統合などして金額を絞る。)

これだけです。

決める手順は3つのみです。

では詳しく見ていきます。

1：まず作りたいシーンを考えて必要なフラワーアイテムに○をする。

(後述します)

花の全体像をラフにイメージします。

ゲストとのどんなシーンを作りたいか、どんな風楽しんで貰いたいかを考えながら、後ほどお話しするアイテムリストの必要なものに○をしていきます。

このときに大まかな金額も出てきますので、ラフな全体像と大まかな見積もりをイメージします。

予算の範囲内かどうか考えながらお花のアイテムを決めます。

このときあまり予算のことばかり気にしすぎず、ふたりの気持ちの良い理想に近いところでラフに決めていくのがコツです。

2：そのフラワーアイテムに、コンセプトを取り込んでデザインを具体化し金額を決定する。

そしてこんどは、そのアイテムにコンセプトやテーマを取り入れて、フラワーデザイナーと具体的なデザインを作成します。

より具体的な金額になってきました。

3：結婚式全てのアイテムの金額が出たらお花を再度見直し、金額とアイテムを確定する。

(もし全体の金額が予算オーバーになったらデザイン見直し、アイテム統合などして金額を絞る。)

もしトータル金額が予算以上になり厳しくなってきたら、フラワーデザイナーに相談しながらデザインの見直しやアイテムの統合などをしていきます。

予算が厳しくなった時に、つい失敗してしまいがちで気をつけなければならないこと。

それは、お金のことで頭がいっぱいになり闇雲にフラワーアイテムを削ってしまわないこと。

結婚式は会場の雰囲気作りがとても大切です。

そのためにコンセプトがあり、シーン作りがあり、それを表現する最適な手段として花や空間の装飾アイテムがあります。

でも予算は限られているもの、どうしたらよいのでしょうか？
アイテムはシーン作りに欠かせないものですから極力無くしてしまうことは避け
けます。

デザインを再考し花のボリュームを縮小したり、手作りのデコレーションアイ
テムをプラスして節約しながらボリュームをキープしたり、二つのシーンを統
合し別のシーンを作り出すなどで対応するとよいでしょう。

素敵な会場を探し美味しい料理も準備しました、
だけど花や装飾がなければ味気ないただの食事会になってしまいます。

花を飾り付け装飾をすることで初めてゲストが楽しめるおもてなしのパーティ
ーになります。

もう一つ失敗しがちなのが、手作りの装飾アイテムを丸々自分たちだけで用意
するときです。

空間に合った装飾のボリュームを的確にイメージすることがとても難しいため、
当日飾ってみて物足りなさを感じたり、飾ることでかえって寂しくなっていま
ったなど失敗も多いところでは。

自宅で準備した時は大きくボリュームたっぷりに感じられても、会場のスケ
ール感は意外と大きなもの、フラワーデザイナーなどにしっかりアドバイスを受
けましょう。

どうです、結婚式の花の決め方以外に簡単でしょうか？

1：まず作りたいシーンを考えて必要なフラワーアイテムに○をする。

(後述します)

花の全体像をラフにイメージします。

2：そのフラワーアイテムに、コンセプトを取り込んでデザインを具体化し金額
を決定する。

3：結婚式全ての金額が出たら再度見直し、金額とアイテムを確定する。

(もし全体の金額が予算オーバーになったらデザイン見直し、アイテム統合など
して金額を絞る。)

これだけです。

決める手順は3つのみです。

●結婚式の花のアイテムのすべて

「フラワーアイテムリスト」

オリジナルウェディングを成功させるのにどこに花を使用するのか？

具体的に見ていきましょう。

コンセプトやテーマを決めて、どんなシーンや物語を作るかイメージできたら、あとは、お花の力で具体的に装飾をしていきます。

お花を装飾できるアイテムを詳しく見ていきます。

大きく分けると

①ゲストを迎えるウェルカム装花

②挙式会場装花

③パーティー会場装花

の3つです。

その3つを、もう少し細かく見ていくと以下になります。

①ゲストを迎えるウェルカム装花として、

・エントランス

(門柱などゲートに装花、アーチなど設置して装花、スタンドなど設置して装花、花器など設置して装花、ウェルカムボードを設置して装花・・・)

・アプローチ

(両サイドにスタンドなど設置して装花、両サイドに花器など設置して装花、両サイドにキャンドルを装飾、両サイドに花びらで装飾・・・)

・受付

(受付テーブルの上に装花、受付テーブルの背景の棚や壁面を利用して装花やキャンドル、受付テーブルの近くにスタンドなど設置して装花・・・)

・ウェイティングスペース

(卓上に装花、カウンターに装花やキャンドル、棚や壁面に装花やキャンドル・・・)

・フォトブース

(ソファとその周りに装花、大きなグラフィックボードに装花、コンセプトやテーマを表現したデコレーションと装花・・・)

・フラワーブツフェ

(ゲストに好きな花を選んで貰って身に付けて貰う、女性のゲストの手首につけるリストレットを、男性ゲストにはジャケットの胸ポケットに差し入れるブートニアをプレゼントして身に付けて貰いみんなで写真を撮る・・・)

・ウィッシュツリー

(受付時にゲストの写真を撮ってその写真にふたりへのメッセージを書き入れて木を設置し、そこにその写真をみんなに飾り付けてもらう。そして、その周りの装花・・・)

などがあります。

②挙式会場装花には、

・正面の祭壇両サイド、正面バックにスタンドに花や木、正面バックの壁に花やキャンドル

・バージンロードサイドにスタンドに花、もしくはキャンドル

・チェアーに花

・バージンロードに花びら、フラワーシャワー、フラワーガールの花びらや花かんむり、リングボーイにブートニア、ブライメイドにブーケ、トスブーケ、ブルズブーケ

などがあります。

③パーティー会場装花には、

・パーティー会場入り口にスタンドに花、柱や壁に花

・メインテーブルに花、メインテーブルのバックにスタンドに花、アーチ、木

・ゲストテーブルに花、ゲストテーブル上のナプキンに花

・天井から花を吊り下げる

・階段の手すりに花、階段のステップに花、キャンドル・・・

などがあります。

また、パーティー会場の演出系として、

・ケーキの上に、ケーキ台の上に、ケーキカットナイフに、マイクに、乾杯グラスに装花

・キャンドルサービス用メインキャンドルに、トーチに装花

・親御様に贈呈の花束、プレゼント用花束、サプライズ用花束

などがあります。

これが結婚式で使用する花のほぼ全てです。

このアイテムをシーンやコンセプトに合わせてチョイスします。
それぞれのアイテムのデザインと色を決めて、花の種類を決めていくことになります。

こうしてアイテムを並べてみるとアイテム数が多く、しかもそれぞれのアイテムのデザインバリエーションは無限にあることがわかります。

みなさん少し戸惑うかもしれませんが、安心してください。
これを細かく決めてくれるのがフラワーデザイナーです。

みなさんは「こういうのを決めるんだなあ」と、ぼんやり知っているだけで良いです。

あとは、フラワーデザイナーのガイドあれば大丈夫です。

ここで大切なことはフラワーデザイナーのガイド次第で、
オリジナルウェディングの成否が決まるということになります。

出来るだけ、優秀なフラワーデザイナーを見つけて下さい。

●重要ポイント！ お花屋さんの選び方

オリジナルウェディングを成功させるために、
鍵を握るのが会場装花
その大切な仕事を担うのがフラワーデザイナーです。

そのフラワーデザイナーがいるのがお花屋さん、ということになります。

オリジナルウェディングの成功は、良いお花屋さんとの出会いで90%決まると
いっても良いでしょう。

そんなお花屋さんの選び方、見極め方をお教えします。

良いお花屋さんを見極める 7つのチェック項目があります

- 1：コストがかからない体質かどうか？
- 2：人の考え方はお客様にしっかり向いているか？
- 3：みんなの為になる情報を発信しているか？
- 4：実績がたくさん見られるようになっているか？
(特に会場の空間装飾やコンセプトに基づく表現力があるかどうか？)
- 5：ウェディングの専門家かどうか？
- 6：料金は明確か、適正か？
- 7：常にチャレンジしている会社か？

それでは一つ一つ具体的に見ていきましょう。

- 1：コストがかからない体質かどうか？

・ショップはない方が良い。

(ショップの小売があると在庫を持たなければならず廃棄ロスや、お店番などのスタッフの固定費がその分多くかかる。)

・打合せのみのサロンではなく、打ち合わせと製作場も兼ねるスタジオが望ましい。(打ち合わせサロンのみを維持すると余計な固定費がかかり、ましてや、ブランディングや広告効果を狙って一等地にサロンがあるとコストは非常に高い)

ここで大切なことは、自分たちの結婚式と直接関係しないこれらの余計なコストが、お花の金額に上乗せされており、それをふたりが負担しているということです。

2：人の考え方はお客様にしっかり向いているか？

経営者や店長、スタッフの考え方をよく聞くということ。

考え方をブログやホームページなどで、しっかり発信しているか？

その言動の中で、最初にお客様の利益を考えているか。
自分たちの利益を優先していないかを確認してみてください。

3：みんなの為になる情報を発信しているか？

これから結婚を準備される方々にとって役に立つ情報を発信しているか？

お花屋さんの仕事はやるのが非常に多くしかも重労働なので、
日頃の業務をこなすことで精一杯です。

それでも直接自分の利益とは関係がなくても、自分の経験から得た有益な情報を、
社会の為に還元する努力をしているか。

これは誠心誠意お客様としっかり向き合っているかどうか判断できます。

4：実績がたくさん見られるようになっているか？

(特に会場の空間装飾やコンセプトに基づく表現力があるかどうか？)
お花屋さんの能力を見極めるのに分かりやすい判断材料になります。

これまでどんな会場装飾をしてきたかがわかると、これから自分たちにどうい
うことをしてくれるのかが良く分かります。

その際のポイントは、必ず会場装飾の実績をしっかり見るということ。
ブーケやメインテーブルフラワー、ゲストテーブルフラワーといった単品だけ
を見ても判断材料になりません。

ここで注意することがあります。
特に大掛かりな装飾を得意としてアピールしているお花屋さんにも少し注意が
必要です。

確かに大掛かりな装飾はインパクトもありコンセプトを表現するのにも役に立ちます。

ただ、大掛かりということは、準備期間が長くなるので、その分関わる人数が多くなるということ。

また、当日セッティングも短時間で終わらせなければならないので（特に 1 日に 2 本以上結婚式がある会場の場合は、非常に短時間になる）、短時間に非常に多くの人数が必要になってきます。

この「短時間に多くの人を手配する」ということが最も非効率でコストがかかる場所です。

大掛かりな装飾はスタッフが多く必要になり人件費が余計に掛かってしまうということです。

このコストの負担はとても大きいものです。

このタイプのお花屋さんに依頼する場合は、

「結婚式の全てのアイテムのなかでお花に 1 番お金を掛ける。」

という位の覚悟が必要なので注意しましょう。

また、大がかりでインパクトのある装飾に惹かれて依頼をしたのはいいが、予算が厳しくなってその大きな装飾をあきらめなければならなくなった時、それなしでもしっかりとオリジナルウェディングを作ってくれるのか、お花屋さんの対応に注意してください。

予算が厳しくなり結局大掛かりな装飾が出来なくなったときに、お金をかけずにふたりのコンセプトを上手に表現するアドバイスやアイデア、サポート商品をしっかり提供してくれるかが大切なところではあります。

ふたりらしい結婚式を成功するための「装飾の規模と自分たちの予算とのバランス」、この悩ましい問題は、多くの新郎新婦がぶつかる問題です。

それとお花屋さんによっては、私は何々が得意ですと個性を全面に出しているところがありますが、この姿勢はお客様志向とは少し違うものです。

デザイン志向が強いフラワーデザイナーは、ふたりらしさを引き出すというより、自分の作品作りに意識がいてしまいがちです。

大切なのは、全てのお客様の希望を叶える姿勢が大切ですよね。

また雑誌に載っているとかマスコミに取り上げられたなども、本当の現場の能力の判断材料になりませんので気をつけて下さい。

5：ウェディングの専門家かどうか？

ウェディングの専門家は、それ以外の小売や営業活動などに時間が取られません。

ウェディングのみに専念できるため、ノウハウの蓄積や能力が桁違いです。

特に経験が長ければ長いほど素晴らしい対応力が備わっています。

これはとても大切なポイントです。

6：料金は明確か、適正か？

料金はきちんと明示されているかどうか？

お花の特性として時期によって価格が違ったり、品質や大きさに差があったり、また品種によっても大きく価格が違います。

ましてやそれらをいろいろ取り混ぜて製作するため、価格が分かりにくくなってしまうです。

お花屋さんの多くは、その時期や品種などで金額を出していくのでお花の金額は分かりにくくなり、その為か「お花は高い！」と感じられる方が多いようです。

良心的なお花屋さんの中にはアイテムの形やサイズで、その季節の花であれば金額が上がらないように価格を固定しているところもありますので、お花屋さんにしっかり確認してみてください。

打ち合わせが進むにつれ追加で金額が上がってしまうこともなく安心できます。

7：常にチャレンジしている会社か？

お客様の利益のために、他のお花屋さんには無い、自社の独自の仕組みや商品、サービスを積極的に開発しているか？

より低コストでより付加価値が高いサービスの開発に、チャレンジしているかどうかということです。

これはホームページを見ているとよくわかります。

ホームページに新しい結婚式の装飾実例の紹介を積極的にしているか？

新しいサービスや商品を作り出しているか。

また、デザインの新しい提案なども常にしているようであれば、チャレンジ意識の高いお花屋さんです。

ここでのポイントはチャレンジ意識が高いということは、お客様の様々なニーズや希望に積極的に応えようとする姿勢があるかどうか判断できるということです。

ふたりがやりたいことに対して予算が十分でない場合にも、その予算の中で最大限にふたりの希望を叶えようと努力をする。

少し手間が掛かってしまうことや、やったことが無いことにでも、面白がって積極的にチャレンジしていくことが出来るお花さんは、ふたりの大きな力になってくれます。

以上7つのチェックポイントをしっかり意識して、自分たちのベストパートナーを見つけて下さいね。

あなたのそばにきつといます。

楽しい結婚準備が出来ますように。

第3章

やってみよう！花の準備・実践編

オリジナルウェディングを成功させる
「花嫁のための実践講座」

結婚式の花の打ち合わせ前の準備に、
とても役立つノウハウをお教えします。

～ふたりの思いを言葉にする～

●イメージをまとめる

明確でなくてもかまわない、2人のじっくりくるテストや
落ち着く空間、好きなこと、思い出、
伝えたい思い、夢、空想・・・を言葉にしてみる

できれば紙や付箋に書き出してみる

そうして生まれたいくつもの言葉は、2人のかたち作る大切なエレメント
お互いのことがよくわかる

その言葉の断片を集めて切り貼りしてみる
2人で話しているこの時間は宝物

一つ一つの言葉は「私のもの」
それを今度は「私たちの言葉」に変えていく作業

お互いのことを思いやりながら、
ぼんやりと心地よい二人の言葉が浮かび上がります。

その言葉をふたりのウェディングのテーマにしてみよう
これは同時にコンセプトにもなります。

これでオリジナルウェディング作りがぐっと楽に
もっと楽しく、そしてふたりはもっと仲良しになりますよ。

このコンセプトを大きく外さないようにして
会場選び 季節選び
ドレス選び 招待状作り・・・

その流れの中にお花の飾りやブーケを考えていきます。

これからふたりでたくさんのごちそうの場面が出てきます。

イメージがより明確になることで、このチョイスがとても楽にできるようになりますね

ふたりの輝く未来が見えてきた

この「始まりのわくわく感」が、何年たっても忘れられない
大切な2人の絆になることでしょう。

●具体的な作業のアイデアです。

ふたりの言葉の断片を付箋に書き出します。

次に、お互いが相手の言葉に共感を持てる、そんな共通の言葉を選び出します。
その選び出した言葉の付箋を、大きな紙に貼り付けて整理する。

いままで気が付かなかった相手の心の思いを知ることができます。
これ結構大事です！

そして、その相手の思いと自分の思いが重なる言葉を発見する。
それがふたりの言葉になり、ふたりのコンセプトにつながっていきますよ。

「ふたりがもっと仲良しになれる方法」・・・？
この作業は二人の距離をもっと近づけてくれそうですね♪

お花の打合せは、

最後の仕上げのつもりで楽しみましょう
およそ2か月～1か月前にお打合せが始まりますよ。

～ふたりの感性を画像（絵）にする～

●できればイメージを形にしておく

好きな雑誌やお花の雑誌・・・目に映るもの全ての中から
”好き”なものをどんどんスクラップ！

もちろんお花に限らずあらゆるものを集めると
あなたの好きなテスト、雰囲気が明確に
思わぬ自分を発見できてうれしいですよ

出来れば2人で集めるともっと楽しい♪
集まった素材を眺めていると、ふたりの共通点がわかる

お互いの知らない世界を発見できてドキドキ
私と彼の意外な共通点がうれしい

こうして出来上がったスクラップブックを、
お花の打ち合わせ時に公開

フラワーデザイナーがどんな世界を描いてくれるか楽しみです。

●具体的な作業のアイデア

写真や画像などのビジュアル素材を使ったスクラップブックは、
形として目に見えることにより、
言葉だけよりリアルに実感ができておすすめですよ。

画像は雑誌やネット検索などで、たくさん収集することができますよ。

お花に限らず好きなものすべての画像を集めるのがコツです。
好きな季節、食べ物、旅行先、風景、場所、趣味、夢・・・

とにかくちょっとでも気になったらスクラップしましょう。

頭で思い浮かべているだけだと、たくさんのが頭に入りすぎて整理が難しくなってしまう。

そんな時このスクラップブックは役に立ちますよ。

たくさんのは画像を眺めていると、違う分野でも共通する自分の嗜好がはっきりと浮かびあがってきます。

頭の中を整理するのにとても便利ですね。

それと、これから2人の結婚式を作ってくれるたくさんの人たちに、想いやコンセプトを伝える場面がたくさん出てきます。

そんな時、このスクラップブックを見せるだけでOK！

楽しい結婚準備のよい思い出にもなりますよ。

～DIY大作戦！ハンドメイドウェディング～

●「手作り」をプラスしてオリジナル感をアップしよう

コンセプトやテーマは好きな色でもいいし好きな花でもいい
季節をイメージする花や物でもいいし
好きな場所や好きなことでもOK

テーマが決まったらモチーフを決めます

お花、器、小物、オブジェ、オーナメント、リボン、フラッグ・・・

打ち合わせでは、フラワーデザイナーが
ふたりとアイデアを出しながら
テーマに合わせてコーディネートしていきます。

その際、手作りのものや好きな小物、雑貨などがあれば
フラワーデザイナーがふたりらしさを引き出す
素敵なアイデアがもっと広がるはず。

もちろんフラワーデザイナーもたくさんのアイテムをご用意しますが、そこに一つでもふたりが好きなものや手作りのものを合わせると、とびっきり素敵なコーディネートが生まれますよ。不思議なことにふたりの手で何かを加えると驚くほど輝きが増すふたりの手はまさに魔法の手です。

●何か手作りできるものはないか考えてみましょう
フラッグ、ポムポムフラワー、イニシャルプレート、リース、
テーブルナンバー、席札、メッセージカード、フォトプロップス・・・

●もう一つのとおきの方法は、好きなものを合わせること

手作りでなくても、自分の目を見てチョイスした装飾小物や
オーナメントを、お花に合わせてデコレーションすることで
ふたりらしさがぐっと増します
ふたりで雑貨屋さんめぐりも楽しいですよ♪

～具体的にテーマを決めてみよう～

●コンセプト・テーマを強く意識してみる

テーマ性の強いコーディネートは、
ゲストにより深い印象を残します。
ゲストやおふたりにとって忘れられない
素晴らしい結婚式になるでしょう。

具体的なテーマの決め方

① をテーマにする。

色に、とことんこだわり細部まで統一してみる

ドレス・ブーケ・小物 招待状・ペーパーアイテム・ブライズメイド・ウェルカムドリンク・料理・会場装花・・・

② をテーマにする。

好きなもの、ふたりの思い出のもの、エピソード、趣味など

動物・ディズニー・ひまわり・桜・リボン・テニス・音楽・スキューバダイ

ビング・山登り・・・

③ テーストをテーマにする。

ナチュラル・ファンシー・エレガント・リゾート
・ガーリー・アンティーク・・・

④ 節やイベントをテーマにする。

春・夏・秋・冬・クリスマス・ハロウィン・母の日・バレンタイン・イースター・・・

⑤ 場所をテーマにする。

森・海・山・川・南の島・ハワイ・パリ・ニューヨーク・日本・・・

⑥ 言葉をテーマにする。

ふたりのコンセプトを表す「言葉」をテーマにする。
絆・つながり・感謝・秘密・・・

オリジナルウェディングでは”こだわる”ということが成功のコツです。

小さなことでもよいので何か一つテーマを決めて
それを軸にして決めていけば、すっきりとしたトータル感を作れ、
ふたりらしいウェディングが実現しますよ。

幸せな花嫁たちの打ち合わせ実例

～幸せをつくる「オリジナルウェディング打合せ日記」～

● 「動物たちが遊ぶ森」

10月に挙式を挙げるおふたりのコーディネーターです。
テーマは動物たちが遊ぶ森。

現在ご新婦が手作りの動物を制作中とのこと、
出来上がったサンプルとおふたりがイメージする会場装花の画像を
幾つかお持ちになりました。

この動物がまたすごくかわいい！

森や、草原の参考写真をたくさんご用意頂いて、
ふたりのイメージする世界感もしっかり出来上がっています。

後はどのようなデザインでどの場所に飾り付けをすれば良いのか、
またお二人のこの世界をトータルで会場コーディネートをするにはどうすれば？

というご相談です。

まず会場を森のイメージにするため、大きな装飾として
大ぶりの木をメインテーブルの背景に飾ります。

入口にはウェルカムデコレーションとして、
ウェルカムツリーを飾り、そこにゲスト一人一人に向けメッセージを入れた
席札を吊り下げて来場されたゲストに探して頂く。

受付のコーナーにはウェルカムトランクを置きたいとのご希望、
手作りの動物が遊ぶイメージで制作します。
このトランクに飾るメッセージボードや小物、トランクもお二人で
イメージするものを探して頂くことに。

打ち合わせをしながらみんなワクワクしてきます。

次にメインテーブルやゲストテーブルの表現です、
手作りの動物たちを遊ばせるデザインにするため
古びたブリキのイメージのお皿状の器に
モスで草原のイメージを作り
野に咲く花と、そこに遊ぶ動物のイメージを表現。
この器もみんなで各々探し今後メールなどで報告し合うことに。

当日までみんなで作る楽しいウェディングです。

夢がいっぱいのお二人と
その夢をどうしても叶えたいフラワーデザイナーとの
手作りウェディングのスタートです。

● 「ハワイと日本の秋でおもてなしするホームパーティー」

11月のパーティーのお二人

9月にハワイにて挙式を挙げるので、
ハワイをテーマにしたいけど
ハワイのお花だと夏のイメージがしてしまうのでは？

でも11月の秋の雰囲気を出したい。

また自宅に招いたホームパーティーのイメージを出したいけど
ここは日本だしハワイのお花ではおかしいのかな？

この悩みをうまく解決する方法はありますか？というご相談です。

まずはご希望を細かく聞きながら、
お二人のご希望されるテーマやニュアンスを盛り込んだ
会場装花作りをゆっくりと時間をかけて決めていきましょう

きっと解決できますよ。

まずは会場装花の色合いやお花の種類からイメージしていきます

ハワイのイメージを作るのに南国をイメージでき、なおかつ季節性が際立たないお花や葉の選定をします

今回はモンステラという葉とモカラという蘭を選びました。

次に秋の雰囲気は収穫をイメージした実ものや果実を使います。

お色合いも深みのあるもので統一

今回はハワイでのブライズメイドのドレスや挙式のブーケがオレンジということもあり会場装花にもオレンジをメインカラーとしてボルドー色や深みのあるパープルを合わせていきます

このお色合いでしたら蘭を使っても秋らしさをだせますね。

またホームパーティーの雰囲気は、会場のメインテーブル、ゲストテーブル、ウェルカムスペースの装花に使うガラス花器の水中に、スライスした果実を沈めてデコレーション

このように果物を切ったりして、手作りのお料理のイメージを出していくと、アットホームなおもてなし感が演出できそうですね。

みんなでアイデアを出しながらワイワイと楽しい時間になりました

ハワイでの挙式に参列できなかったゲストに
ハワイと秋をテーマにアットホームなおもてなしで
お披露目をしてあげたいという、心優しいふたり

ぜひとも楽しくて素敵なパーティーを実現してほしい

実はご新婦にはもう一つ悩みがありました

それは、カラードレスの色をまだ迷っているとのこと
今回イメージした会場装花とイメージが合わなくなるのでは？
ということです。

今後メールでのやり取りもできますので、
選ばれたドレスのお写真を拝見しながら
ゆっくりとドレスとベストマッチなお色を探っていきましょう

どんなドレスをお選びになるのかとっても楽しみです♪

● 「ホワイトワンダー」

テーマは不思議な白の世界

撮影スタジオを貸し切ったウェディングパーティーです。

コンセプトからデザインチームで作りに上げていきます、
2人のためにウェディングデザイナー・フラワーデザイナー・
フードデザイナーとでデザインチームを作っています。

2人のテーマは「ホワイトワンダー」

今回のウェディングのロゴ作りからスタートします

グラフィックデザイナーによるコンセプトに合わせた招待状や
ペーパーアイテム作り。

空間コンセプトが固まったらそれに向けてチーム内の
スペシャリストたちから、ふたりの夢の実現に向けて
次から次へとすごいスピードで提案が出てきます。

2人の熱い想いを一つ一つ形にしながら
様々なアイデアやデザインが生まれていきます
エキサイティングな時間です。

こうして生まれた空間デザイン、

- ・空間を白のファブリックとフラワーでデコレーション
カスミソウのボールがとってもワンダーです。

- ・ギフトボックスコーナー

大きなギフトボックスの中にはゲストへのプレゼントがぎっしり、
パーティーの終わりにプレゼントが飛び出す演出はとってもキュート。
ローズの花びらで作った大きなボールオブジェに
巨大な木の皮で作ったお花を合わせて 不思議な空間へ。

- ・フードもとことん白にこだわったオリジナル料理
フードデザイナーの腕は見事です

- ・テラスには白の枝で作った壁と
天井から降りてくる白いファブリックに囲まれた
2人のソファースペースが圧巻

ゲストへサプライズな空間デコレーションをプレゼント、
2人の夢が叶ったラブリーなパーティーです。

●「夢のサッカースタジアムウェディング」

サッカーが大好きなおふたり、
なんとサッカースタジアムを貸し切ったパーティーです。

ピッチの上で、挙式を挙げたい。
一生に一度だけプロしか踏めないスタジアムのピッチで
仲間とサッカーをしたい！

素敵ですね、私たちがふたりの結婚式のサポーターです！

さて、この広いピッチの上でどのように
ふたりだけのオリジナルの装飾を実現するか、
ふたりのサポーターである私たちフラワーデザイナー、ウェディングデザイナー
を交えてアイデアを出していきます。

その中からサッカーボールをたくさん使ってバージンロードを彩る、
サッカーボールバージンロードが生まれました。

サッカーボールを花で飾ってバージンロードを縁取り、
正面の挙式祭壇には大ぶりのフラワーリースと
リボンを使ってインパクトのある装飾に。
ふたりの想いの込められた挙式デコレーションの完成です！

バージンロードを歩く新郎新婦のお顔は
本当に楽しそうでした。

ちなみに披露宴で持つブーケはサッカーボールを
モチーフにしたものをご用意。

ゲストとみんなで楽しむ、夢がたくさん詰まった
素敵なサッカーウェディングパーティーです。

●「森の中の秘密のパーティーへ ようこそ」

ふたりの夢は、森の木々の息吹を感じながら、
ゲストのみんなと森のウェディングパーティーをしたいということです。

森の中をお散歩して、木々に包まれて癒される、
そんな感覚になって、しかもインパクトのあるダイナミックな装飾がしたい。

素敵ですね！

二人の夢は私たちの夢、絶対に叶えて見せます！

場所は都心の天井の高い解放的なカフェ。

メインとなる演出は、カフェの近くで週末に開かれるマルシェの真ん中で、
お買い物にいらした方々にも祝福して頂きたいと、オープン挙式を行います！

さて、披露宴会場となるカフェを森のイメージに変えてしまうには？

ふたりとフラワーデザイナー、ウェディングデザイナーとで
沢山のアイディアを出して行きます。

その中で光るアイディアを発見！

天井が高くて、しかも太い梁がむき出しの構造を生かして、
天空から巨大な木の葉のボールをいくつも吊り下げてしまおうというものです。

当日、直径2mの大きなものから小さなものまで大小の木の葉のボールを
会場中に吊り下げ、そこからゲストのテーブルに届くほどの長い蔦の葉を下げ
ていくと、木々に包まれた感じが出てきました。

やがてパーティーが始まりゲストがテーブルに着くと、
まるで森の奥深いところで秘密のパーティーが始まったようでした。

ふたりとも「想像していた以上です、夢が叶った！」と大感激。

私たちの夢も叶った瞬間でした。

●「夢見るようなシネマウェディング！」

映画好きのふたり、なんと映画館を貸し切ったのウェディングが実現！

当日はゲストも参加してオリジナルの映画を作り上げながらパーティーが進みます、なんて素敵な夢なのでしょう。

夢の実現に向けて全力で応援します。

今回は、お花のデコレーションでふたりの入場シーンを演出します。

リスが大好きな花嫁、なんとリスの着ぐるみを着て登場します。

リスの住む森をイメージさせて、入場シーンを最大に盛上げるデコレーションを考えます。

ふたりとウェディングデザイナー、フラワーデザイナーがアイデアを出し合って、素敵なアイデアがたくさん生まれました。

その中から、リスの住む国の入り口を作ることに。

大型のフラワー&グリーンアーチを設置して芝を敷き詰めます。

両サイドには白枝を立てて林をイメージさせ、木の実やフルーツをアンティークな木箱、鳥かごなどにデコレーション。

インパクトのある、空間デコレーションの完成です。

二人の夢は私たちの夢、どうしてもどうしても実現したい！

●「アヒルの遊ぶプールガーデン」

9月の結婚式です

テーマはアヒルが遊ぶ結婚式。

おふたりともアヒルが大好きでアヒルに囲まれたパーティーをしたいとのこと。
チャーミングなお二人ですね！

ですがどのように会場装花と合わせて装飾していけば良いのか
イメージがつかめないとのこと相談でした。

ふたりの夢を叶えるべく、たくさんの資料や画像を使ってご提案。

まずゲストのすぐ近くにアヒルを感じて頂けるように
ゲストテーブルフラワーのデザインを面白いものに。

丸いガラス器を2段に重ねたオリジナルデザインの、
下の段に水をいれ、そこにアヒルのフィギュアとグリーンをうかべて
アヒルが遊んでいる風景を作ります。

上段の丸いガラス器には大好きなヒマワリを束ねたブーケを入れ込んでデコレ
ート、楽しくてアイデア溢れるデザインの出来上がり。

アヒルのフィギュアはお二人が、イメージにあうものを探してお持ちになって
下さいます。

ふたりとフラワーデザイナーとのコラボレートデザイン、当日が楽しみです
ね！

メインテーブルにもアヒルのフィギュアが浮かべられるように
ガラスの水盤を組み入れたデザインに。
こちらも楽しい演出になりそう。

プールのある会場なのでそのプールに
たくさんのアヒルのフィギュアを浮かべてゲストへのサプライズにしたいと
のこと。

本当にゲストを楽しませることを大切に考えていらっしゃる素敵なふたりです。

何が何でも二人の夢を叶えて差し上げたい！

● 「想いでのお花でプロポーズ」

ブーケ&ブートニアセレモニーをしたいのです！
と言って、お二人の思い出のお写真を差し出されました。

そこにはご新郎がプロポーズをしてくれた時に贈ってくれた
オレンジのガーベラの花束が写っていました。

ブーケ&ブートニアセレモニーとはヨーロッパの伝説にちなんだセレモニー。

ご新郎がゲストからお花をピックアップして周り
それを束ねてご新婦となる人へプロポーズをします。

もしその愛を受け入れるならばその証として、
贈られたブーケの中から一本のお花を
ご新郎の胸ポケットへ差し入れるという素敵なイベントです。

「この時と同じオレンジ色のガーベラのお花を使って、
大切なゲストからそのお花を頂いて、皆様の前でプロポーズをしたいのです。」

お互いに対して、またゲストに対しての暖かいお気持ちがこもっていますよね。

私はお話をうかがって感動で少し涙ぐんでしまいました。

この愛に溢れる夢の実現のお手伝いできて本当にうれしい。

もちろん当日に、そのお写真に写っているガーベラに
できる限り近いお花を探してお持ちいたしますね。
幸せな結婚式になりますように♪

あしがき

ある日のこと私のスタジオに、一通のメールを頂きました。

「これから結婚式を予定しているのですが、自分たちらしい結婚式にしたいし、大切なゲストに楽しんでもらいたい。

親や親族に感謝をしっかりと伝えられて、来てくれた人たちに幸せな気分になってほしい。

だけど予算のこともあるし、どんなことができるのか知りたい。

私たちが心から結婚してよかったと思えるために、何から始めたらよいのかわからなくて、ぜひ相談したいのです！」

まえがきでお問い合わせいただいた、悩める花嫁の疑問や不安に少しでもお役に立てたでしょうか？

まず知ること

そしてふたりで協力すること

具体的に動き出すこと

この3つから始めましょう。

夢をあきらめない限り、

きっと協力してくれる人が現れるはずですよ。

ふたりのオリジナルウェディングの成功をお祈りしております。

そして、なによりも結婚式準備をおもいっきり楽しんでくださいね。

ウェディングピープル 正田郁也